

令和4年度 府立宮津天橋高等学校加悦谷学舎 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（実施段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>1 生徒一人一人の可能性を伸ばし、希望進路の実現を図るとともに、社会に貢献できる人材の育成</p> <p>2 伝統と文化を尊重し、郷土を愛し、地域社会を守り受け継ぐ人材の育成</p> <p>3 豊かで幸せな人生を送ることができるよう主体的に学び続ける人材の育成</p>	<p>【成果】</p> <p>1 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で校内外の取組も大きな制約を受ける中で、オンライン授業配信の速やかな実施や感染防止対策を徹底しながらの学校行事の実施等、コロナ禍でも実施可能な方法を検討し教育活動を進めることができた。</p> <p>2 高校魅力化コーディネーターの活動により与謝野町との連携や地域人材の活用がさらに進み、総合的な探究の時間等の教育活動の充実を図ることができた。また、与謝野町高校魅力化ビジョン策定に本校教職員がワーキングチームとして参画することで、地域や学校の現状認識や今後の方向性について共有することができた。</p> <p>3 学校評価アンケートで学習指導・進路指導の項目がともに約90%の生徒が肯定的な評価をしている。また、予鈴(8:35)遅刻者が、前年度に比べ約45%減少するなど、落ち着いた学習環境が維持され、学校評価アンケートでも生徒が高く評価をしている。</p> <p>4 早期からの就職ガイダンスや生徒個人ごとの進路検討会を学年部と進路指導部が連携して実施し、生徒の希望進路の実現に繋がった。特に4年制大学の合格率は大幅に向上した。</p> <p>5 部活動加入率は横ばいであったが、全国大会への出場は、陸上競技部1名、ウエイトリフティング部5名、書道部2名であった。</p> <p>【課題】</p> <p>1 広報活動の充実を図り、本学舎の強みや魅力を発信し、本学舎を第1志望とする生徒の増加を図る。</p> <p>2 放課後時間の活用の在り方、実施方法について共通理解を図り、全校体制でサポートする体制を構築する。</p> <p>3 探究活動の一層の充実を図り、問題解決能力やプレゼンテーション能力の伸長を図る。</p> <p>4 教育相談や外部機関等との連携を進め、気になる生徒への対応をきめ細かに行う。</p> <p>5 学舎制への完全移行にともない、宮津学舎との一層緊密な連携を図る。</p>	<p>1 学力向上 一人一人にきめ細かな指導を展開し、基礎学力及び発展的な学力を身に付けさせるとともに、探究的な学習をとおして、主体的に学ぶ姿勢を育成する。</p> <p>2 学校行事・部活動の充実 メリハリのある教育を展開し、平日の放課後を有効に活用させる。生徒会活動や部活動など自主活動の一層の充実を図る。</p> <p>3 地域貢献・ボランティア ボランティア活動を積極的に行うとともに、「出前授業」「スポーツ交流」など小・中学校、地域社会、PTAと連携した取組を充実させ、地域社会に貢献し信頼される学校を目指す。</p> <p>4 広報の充実・入学希望者の増加 本学舎の取組をホームページ、ニュースレター、学校公開など、あらゆる機会を活用して発信し、入学希望者の増加につなげる。</p> <p>5 魅力的な教育内容の実践 学舎制の特色を活かした遠隔教育システムによる授業や部活動の効果的な運用とともに、入学した生徒が広い視野を持ちながら大きく成長でき、学校と地域社会がともに発展する魅力的な教育活動を行う。</p> <p>6 教職員の資質能力の向上 「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」を踏まえ、ステージに応じた資質能力の向上を図る。また、生徒一人一台学習用端末の活用や新学習指導要領による観点別評価の研修を深め、授業改善を推進する。</p>

評価領域	項目（重点目標）	具体的方策	評価			成果と課題
組織・運営	○学校の特色化と積極的な情報発信を推進する。 ○学舎制完全移行を踏まえた学校体制の充実を図る。	○広報誌（ニュースレター）・公式ホームページ・学校説明会・個別相談会・部活動部員の勧誘等を通じて本学舎の魅力を発信し、入学希望者を増加させる。	B	B	B	○広報誌やHP等による情報発信、新規の学校説明会の実施など広報活動に注力した。引き続き地域から選ばれる学校づくりを進める必要がある。 ○部活動では学舎間バスを活用するなど合同での取組が進み、野球部の21世紀杯京都府代表を始めとする成果が上がった。一方、学校行事、生徒会活動での連携は今後の課題である。
		○学舎制完全移行にともない、合同での学校行事、部活動や生徒会活動など宮津学舎と一層緊密な連携を図る。	A	A		
学習指導 ・ 進路指導	○一人一人へのきめ細かな指導により、学力の向上を図るとともに、探究学習等をおして希望進路実現に向けた確かな学力を養成する。	○BYODの開始や観点別評価の実施、探究学習を推進し、将来を予測することが困難となるこれからの時代で生き抜く力を身に付けさせる。	B	B	B	○1年生のBYOD活用や観点別評価は一定スムーズに実施できている。探究での学習活動も含め、PDCAサイクルを通じて指導と評価の一体化を目指していくことが求められている。 ○早期からの就職指導の実施や進路検討会を学年部と進路指導部が連携して行い、希望進路の実現に繋がった。4年制大学合格率は大きく向上した。
		○探究学習や各種ガイダンス等で進路に対する理解を深めさせる一方、面談をはじめとする一人一人に寄り添った指導を行い、希望進路実現に向けて組織的に支援を行う。	A	A		
生徒指導 ・ 特別活動	○規範意識の一層の向上を図るとともに、諸活動の充実により主体的、協働的に活動する生徒を育成する。	○遅刻の防止、制服の着こなし、頭髪や身だしなみをはじめマナーを守ることの重要性を理解させ、問題行動の未然防止に努める。	A	A	B	○予鈴遅刻者は極めて少ない状況で大きな成果となった。身だしなみに関しても概ね良好である。次年度も引き続き問題行動の未然防止を図る。 ○コロナ禍ではあったが生徒会が中心となり学校祭を成功に導いた。文化祭ではクラスと文化部、体育祭では各ブロックと運動部のリーダーがよく協力し、充実した取組が実施できた。
		○学校祭、支援学校との交流会等の行事を通じて、リーダーシップのとれる生徒や、取組に協力的な姿勢を持つ生徒の育成を目指す。	B	B		
健康安全 ・ 教育相談	○生命と人権を尊重する態度を育て、心身ともに健康に生きる力の育成する。 ○感染防止対策を徹底し、安心・安全な教育活動を進める。	○教育相談体制の充実を図り、支援を必要とする生徒の早期発見と適切な対応を行う。また、スクールカウンセラーや関係専門機関等との緊密な連携を図る。	B	B	B	○様々な課題を抱えた生徒について教員間で情報共有し、必要に応じて外部機関と連携を取りながら支援を行った。コロナ禍の影響もあつてか、良好な人間関係が築けない生徒が増加傾向にある。 ○感染防止対策の徹底により、現段階では校内での感染拡大は起きていない。一定の制約があるものの教育活動を維持することができた。
		○新型コロナウイルス感染症に係る最新情報を入手し、コロナ禍においても安全に教育活動を継続できるよう、効果的な対策を常に検討する。	B	B		
家庭・地域 ・ 社会連携	○家庭・地域と一層の連携を図り、教育活動の充実と学校の特色化を推進する。	○与謝野町高校魅力化コーディネーターを活用するなど、学校や生徒が地域社会と積極的につながり、地域探究や地域貢献・地域創生の取組を進める。	A	A	A	○高校魅力化コーディネーターとの連携により、地域での探究活動をおして生徒が探究的な手法を身に付けることができた。また、地域人材を活用し教科指導やキャリア教育の充実を図ることができた。 ○新規に広報誌（ニュースレター）を全保護者に配付し、教育活動や生徒の活躍について情報発信することができた。
		○PTA活動の充実を図るとともに、保護者面談や各種説明会等での確かな情報提供を行うなど、家庭との緊密な連携を図る。	B	B		

<p>学校関係者 評価委員会 による評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念、教育目的、教育目標、育てる生徒像は、宮津天橋高校として両学舎共通の統一したものとすべきである。 ・評価領域「家庭・地域・社会連携」の評価について、高校魅力化コーディネーターの活動実績は顕著であり、総合評価もAとすべきである。また、評価領域「組織・運営」の中の学舎合同の部活動に関わって、特に野球部の21世紀枠推薦について、連合チームという形は今後全国的にも大切にされるべき価値を持っており、より高い評価を付けるべきである。 ・学校評価アンケート（生徒）について、質問項目「学習や進路、その他の悩みを相談する教職員がいる。」の肯定的評価の割合が低下しているのは気がかりである。 ・学校評価アンケートの形式や質問項目について、より理解しやすくするためにできるだけ両学舎で共通のものとするべきである。
---	--

<p>次年度への 改善の方向 性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・宮津天橋高校として両学舎共通の教育理念、教育目的、教育目標、育てる生徒像を作成し、学校運営協議会で協議し承認を得た。 ・学年と分掌が連携し担任以外にも生徒が相談できる体制を充実させるとともに、気になる生徒のアンケート等の実施により生徒の変化を早期に把握・共有し適切な対応を取る。 ・生徒の希望進路を実現するため学力の向上と個に応じた丁寧な指導により就職・進学の実績を積み重ねるとともに、積極的な情報発信により生徒募集を積極的に進める。
-------------------------------------	--